

広報 けせんぬま・もとよし広域

2026.8.1

No.87

発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部



- 消防本部からのお知らせ・・・②
- フリーパスポートのご案内・・・⑤
- 令和7年度財政状況・・・⑥
- 消防職員募集のお知らせ・・・⑦
- フォトコンテストの募集・・・⑧



気仙沼・本吉地域広域行政事務組合

消防本部 KESENNUMA・MOTOYOSHI
FIRE. DEPT.

からのお知らせ

問合せ先：消防本部総務課

電話：0226226689 / MAIL：km-soumu@km-fire.jp

HPURL：https://km-fire.jp/

消防テレホンサービス：050-5846-5885 ※火災広報と休日当番医を自動音声でお知らせします

緊急消防援助隊 NEWS



宿営地に集結した消防車両

林野火災の原因は、人為的なものであることが多く、気象状況によっては、即座に大規模な火災に発展することがあり、燃え広がってしまうば鎮火には長期間を要することもあります。

火の取り扱いには十分注意し、火災のない安全安心な街を目指すため、皆様のご協力をよろしくお願いします。

大規模林野火災に 出動

令和8年4月、岩手県大槌町で発生した大規模林野火災への対応のため、当消防本部からも緊急消防援助隊宮城県大隊として出動し、住宅地への延焼防止や山林内での消火活動に当たりました。

当消防本部では、昨年も岩手県大槌市の大規模林野火災に緊急消防援助隊として出動しており、2年続けての大規模林野火災への出動となりました。

山林内で消火活動を実施する隊員



第7回 全国合同訓練の 開催について

令和8年11月14日、15日に宮城県を会場に第7回緊急消防援助隊全国合同訓練が開催されます。

この訓練は東北地方では初開催となり、日本海溝・千島海溝型地震津波災害に対処するための重要な訓練として、全国各地から消防車両や消防ヘリコプターが集結し、実践形式で行います。石巻市（雲雀野地区）がメイン会場となり、仙台市、南三陸町（松原公園）がサテライト会場に指定されます。

南三陸町の訓練会場は一般公開される予定です。なので、全国から集結する多くの消防車両と訓練する隊員の雄姿を、是非ご覧ください。



MIYAGI_PT_2026

プロジェクトチーム インスタグラム開設中

第7回緊急消防援助隊全国合同訓練プロジェクトチームのInstagramが開設されています。随時更新されますので、閲覧とフォローをお願いします。

地震後の電気火災!?

感震ブレーカー

を設置しましょう!

**地震による
電気火災**

地震による火災の多くは、電気が原因です。東日本大震災や阪神・淡路大震災においても、約6割が電気が原因となっています。なぜ、電気火災が起きるのでしょうか?

要因

▽地震の揺れにより電気機器が転倒し、可燃物に接触し出火する。
▽停電後の電気復旧時、転倒又は破損した電気機器や配線が通電した時に発火する。

感震ブレーカーとは?

感震ブレーカーは、地震における一定の揺れを感知すると自動的に電気を遮断する装置です。感震ブレーカーには、次のような種類があります。

簡易タイプ

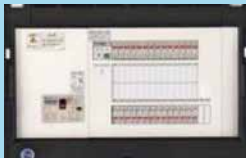
作動すると通電が一斉に遮断されるため、避難用の照明(懐中電灯等)の準備が必要です。※電気工事は不要です。

コンセントタイプ

作動時においても未設置のコンセントへの通電は確保されるため、通電の遮断に伴う避難等の支障は小さくなります。ブレーカーを落とすタイプは一定時間通電を維持できるものもあります。※機器により電気工事が必要な種類があります。

分電盤タイプ

感震性能が高く、専門工事業者による設置のため、作動の信頼性が高くなります。※電気工事が必要です。

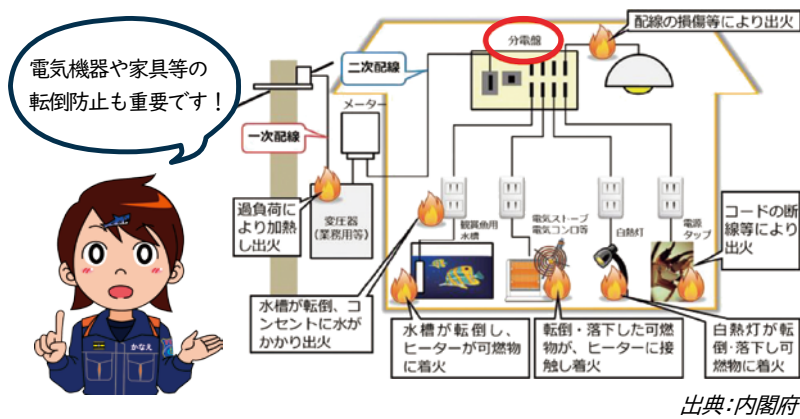
分電盤タイプ		コンセントタイプ	簡易タイプ
内蔵型	後付型		
			
機器概要	分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	感電ブレーカーに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。又はブレーカーを落として電気を遮断。
価格	約5万～8万円 (標準的なもの)	約2万円	約5,000円～2万円
			3,000円～4,000円程度

出典:総務省消防庁

地震による電気火災 対策に有効!

地震発生時の電気火災を防ぐには、ブレーカーを落としてから避難することが大切です。しかし、外出時等、ブレーカーを落としてから避難することが難しい場合もあるため、「感震ブレーカー」の設置が有効です。

感震ブレーカーを設置することで分電盤から先の火災を防ぐことができます。



設置した後の対応

感震ブレーカーを設置した後は、次のことに注意しましょう。

- ① 生命の維持に直結するような医療機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えておきましょう。
- ② 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯等の照明器具を常備しましょう。
- ③ 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品などの交換を行いましょ。
- ④ 自宅だけでなく、地域の方にも設置を促して、地域全体で火災を予防しましょう。

復電する際の 注意ポイント

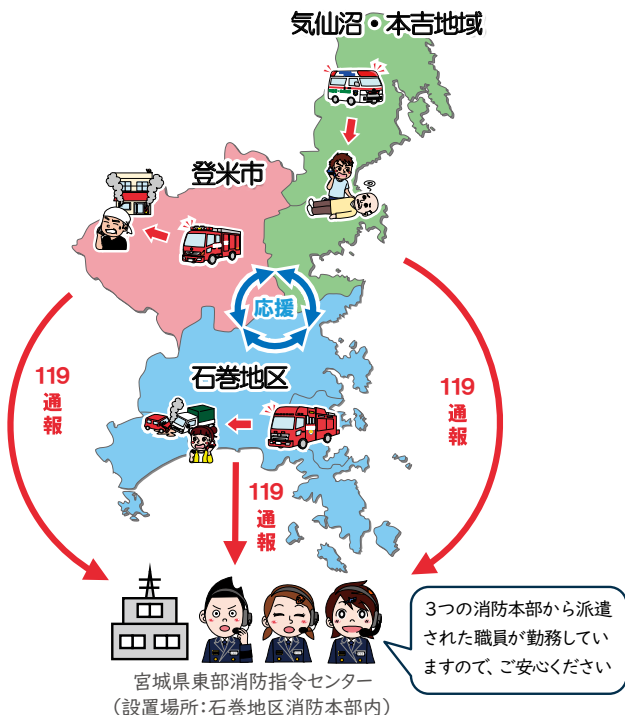
復電する場合に、周囲を確認せずにブレーカーを戻してしまうと、電気機器等から出火する可能性があります。

- 【復電する際のチェックポイント】
- ① 事前にガス漏れがないことの確認や電気機器の安全を確認する。
 - ② 安全ブレーカーを全て落としてからアンペアブレーカーを戻す。その後、異常がないか確認しながら安全ブレーカーを一つずつ戻す。
 - ③ 復電後、焦げたような臭いを感じた場合、直ちにブレーカーを遮断する。

宮城県東部消防指令センター の運用を開始しました

気仙沼市、南三陸町、石巻市、東松島市、女川町、登米市の4市2町は、令和8年4月1日から共同で消防指令業務を行う**宮城県東部消防指令センター**の運用を開始しました。

当センターでは、気仙沼・本吉地域、石巻地区、登米市の各消防本部への119番通報を一括して受け付けます。24時間365日体制で管轄区域約31万人の安全を支え、市町の境界を越えた迅速な応援出動や、大規模災害時の通報集中への対応力を強化します。



開所式を行いました

4月4日には石巻地区消防本部で開所式が開催され、関係者約30人が出席しました。式典では、協定書の披露やテープカットのほか、職員紹介、通報者が撮影した現場映像を指令センターで確認できる「映像通報システム」のデモンストラレーションなどが披露されました。



宮城県東部消防指令センター内の様子



本吉分署移転のお知らせ

現在の本吉分署は昭和48年1月に建築されました。建築から53年と約半世紀が経過しており、建物の老朽化が著しく進んでいます。

本吉分署は圏域の中央に位置する地理的特性から、気仙沼市及び南三陸町双方の救急や各種災害に対応しており、その役割はさらに重要性を増しています。新たな圏域の防災拠点としての役割を担うため、老朽化した本吉分署の新庁舎建築は当組合の喫緊の課題となっていました。



現在の本吉分署(気仙沼市本吉町津谷松尾地内)

その課題を解消すべく、当消防本部では令和5年に「消防力適正配置等調査」を実施し、近年、火災や救急など高まる消防需要に対して本吉分署が最も効果的に対処できる最適な配置の分析、検討を行いました。移転地候補先については、「国道45号線や三陸自動車道を利用する利便性のバランスを計り決定することが妥当」という調査結果を踏まえ、「**気仙沼市本吉町津谷長根地内**」に選定しています。圏域住民の皆様にはご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

事業スケジュール(予定)

令和8年度	地質調査、設計業務 造成工事
	建設工事
令和9年度	供用開始

これまで

令和5年度～令和6年度 消防力適正配置等調査

令和6年度～令和7年度 移転地候補先決定、用地取得

気仙沼市・南三陸町の小・中学生の博物館学習を応援します!!

フリーパスポートで**無料**

フリーパスポートって何？

無料で博物館などの施設を利用できる「パスカード」です。気仙沼市リアス・アーク美術館のほか6圏域（仙台都市圏、仙南圏域、大崎圏域、石巻圏域、登米圏域、栗原圏域）の対象施設で「フリーパスポート」を提示すれば無料で利用できます。（一部除外あり）

小・中学生なら誰でも！

気仙沼市・南三陸町に住んでいる小・中学生と同市・町の学校に通う小・中学生が対象です。

※本圏域内の高校生には、気仙沼市リアス・アーク美術館を無料で利用できるフリーパスポートを発行します。利用する際に、気仙沼市リアス・アーク美術館受付カウンターで申し込んでください。



県内には魅力的な施設がたくさん！
「フリパ」を活用して圏域内外の
いろんな施設に行ってみよう!!



利用できる施設

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部及び気仙沼市リアス・アーク美術館のホームページで確認できます。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

<https://km-fire.jp/>

気仙沼市リアス・アーク美術館

<https://www.kesennuma.miyagi.jp/riasark>

二次元コードから
も確認できます。



使用上の注意

利用できる日

毎週土曜日・日曜日、祝日、夏休み等の学校長期休業期間。

※気仙沼市リアス・アーク美術館は開館日であれば平日でも利用できます。

利用のしかた

各施設の受付でフリーパスポートを見せてください。

★中学校卒業まで使うので、大切に保管してください。

★施設によって臨時休館があるので、利用前にご確認ください。

お問い合わせ

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 消防本部総務課総務係 ☎0226-22-9111

令和7年度

財

政

状

況

令和7年度(令和8年5月31日現在)の財政状況をお知らせします。

歳入

(単位：円)

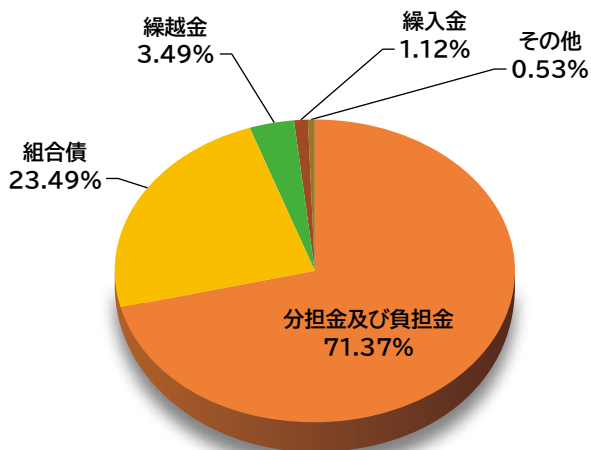
科 目	予算現額	収入済額	収入率
分担金及び負担金	2,057,168,000	2,050,808,000	99.7%
使用料及び手数料	4,294,000	3,522,430	82.0%
県支出金	247,000	247,084	100.0%
財産収入	4,450,000	4,407,857	99.1%
繰入金	33,302,000	32,095,488	96.4%
繰越金	100,201,000	100,201,354	100.0%
諸収入	2,321,000	7,176,213	309.2%
組合債	692,400,000	675,100,000	97.5%
合 計	2,894,383,000	2,873,558,426	99.3%

歳出

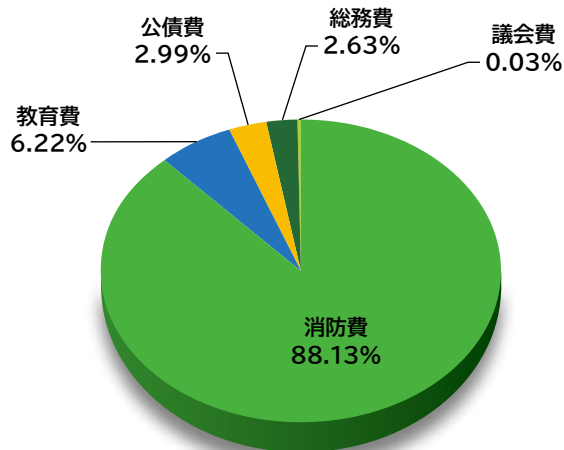
(単位：円)

科 目	予算現額	支出済額	執行率
議会費	1,288,000	920,706	71.5%
総務費	73,251,000	70,313,115	96.0%
消防費	2,564,384,000	2,357,239,146	91.9%
教育費	174,644,000	166,247,097	95.2%
公債費	80,316,000	80,052,925	99.7%
予備費	500,000	0	0.0%
合 計	2,894,383,000	2,674,772,989	92.4%

歳入(収入済額)



歳出(支出済額)



令和7年度主要事業

○ 防火衣一式	8,007千円
○ 気仙沼消防署本吉分署建設事業地形測量業務	1,799千円
○ 小型動力ポンプ付水槽車	74,745千円
○ 災害情報機器室改修工事	9,512千円
○ 宮城県東部消防通信指令事務協議会負担金	460,502千円
○ 指揮車	8,349千円
○ 「N.E.blood21」東北・北海道在住若手作家紹介シリーズvol.88～vol.91	2,454千円
○ 「新！方舟祭2025」	578千円
○ 美術館東面及びエントランス部外壁等改修工事	20,493千円
○ 美術館ZEB化可能性調査業務	5,170千円



令和8年度

消防職員採用試験のご案内

令和9年
4月1日採用

○受付期間／7月1日(水)～8月24日(月)

○試験区分／初級試験(高卒程度)

○職種・採用予定人数／消防士・若干名
救急救命士・若干名

○受験資格／

消 防 士:平成15年4月2日～平成21年4月1日
生まれの方

救急救命士:平成15年4月2日～平成21年4月1日
生まれの方で、救急救命士国家試験に
おいて資格を取得した方、又は、令和8
年度実施の救急救命士国家試験におい
て資格を取得する見込みの方

○申込方法／配布場所(※)に備え付け又はホーム
ページに掲載の申込用紙に必要事項を
記入し、持参又は郵送してください。

※配布場所:消防本部、気仙沼市人事課、南三陸町役
場総務課、気仙沼市及び南三陸町内の
消防署・分署・出張所

○申 込 先／〒988-0104

気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合

消防本部総務課

※持参の場合は受付期間内(土日祝日を除く)の午前
8時30分から午後5時15分までとなります。

○問い合わせ先／消防本部総務課人事係

☎22-6689

○試験日・会場／

令和8年9月20日(日) 午前9時から

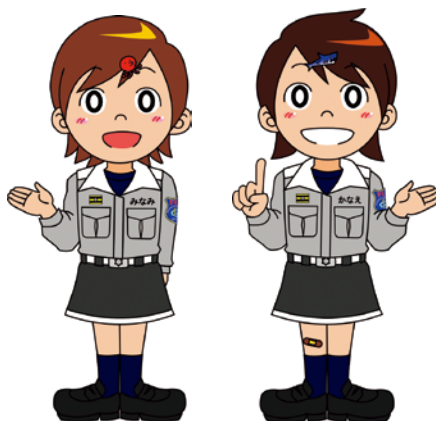
気仙沼・本吉広域防災センター

○一次試験科目／①教養試験

②適性検査(2科目)

③体力測定(7種目)

※二次試験の詳細は一次試験合格者に通知します。



令和7年度 公文書の公開状況と自己情報の開示状況

◎当組合では、保有する公文書などの「情報公開」や本人の求めに応じた「自己情報開示」を行っています。

◎令和7年度の状況は、公文書公開請求12件(前年度4件)、自己情報開示請求2件(前年度1件)でした。

■ 公文書の公開請求件数と処理状況

実施期間	請求 件数	処理状況			
		公 開	部分 公開	非公開	処理中
管 理 者	3	2	1	0	0
消 防 長	9	2	7	0	0
教 育 長	0	0	0	0	0
議 会	0	0	0	0	0
計	12	4	8	0	0

■ 自己情報の開示請求件数と処理状況

実施期間	請求 件数	処理状況			
		公 開	部分 公開	非公開	処理中
管 理 者	0	0	0	0	0
消 防 長	2	0	2	0	0
教 育 長	0	0	0	0	0
議 会	0	0	0	0	0
計	2	0	2	0	0





前回 最優秀賞『神割崎、光の狭間』
荒谷拓実さん



前回 優秀賞『神付く』
小原智子さん



前回 優秀賞『急行・命を繋げ』
藤村和也さん

前回(『第10回気仙沼・南三陸フォトコンテスト』)
入賞作品紹介

過去の入賞作品
はこちらから



第11回

気仙沼・南三陸 フォトコンテスト

スマホ部門を新設し、手軽に応募できるようになりました！

賞品も豪華になっています！

多くの方々のご応募をお待ちしています！

作品
募集

テーマ 未来に残したい、私たちの今

暮らし・祭り・年中行事・催事など
気仙沼・南三陸ならではの風景

応募期間 令和8年 11月2日～12月18日
(最終日午後4時まで)

賞(賞品)

カメラ部門

- ★最優秀賞—1点
(賞金3万円+賞状)
- ★優秀賞—2点
(賞金1万円+賞状)
- ★佳作—若干数
(賞品:圏域特産品)

スマホ部門

- ★特別賞—3点
(賞品:圏域特産品)
- ★入選—若干数
(美術館展示予定)

審査委員 プロカメラマン1名 他

審査発表 令和9年1月
(当組合消防本部 HP に掲載予定)

作品展示 入賞作品展を気仙沼市リアス・
アーク美術館にて開催予定

部門・作品規定

①カメラ部門

- フィルム・デジタルカメラで撮影したもの
- A4・四つ切り・ワイド四つ切りの写真紙にプリント
- 白黒・カラーは不問/合成・加工・組は不可
- 直接提出または郵送

②スマホ部門

- スマートフォン、携帯電話(タブレット端末等を含む)
カメラで撮影したもの
- ※画像サイズ
 - ①長辺=3000～5000 ピクセル以内
 - ②データ容量=1MB～3MB 以内
 - ③解像度=300dpi 相当(ピクセル値)
 - ④ファイル形式=JPEG に限る
- 合成・AIを用いた生成・大幅な加工は不可
(明るさ・色味・トリミング等の軽微な補正は可)
- メールにて送付

問合せ先＝広域組合 フォトコン係
応募先 ☎0226-22-9111

✉ kouiki@km-fire.jp